

第1回紀南地域新高等学校校名選定委員会

配 付 資 料

- 紀南地域新高等学校校名選定委員会設置要綱・・・・・・・・・・・・・・・・P1
- 紀南地域新高等学校校名選定委員会委員名簿・・・・・・・・・・・・P2
- 【参考資料 1-1、1-2】 紀南地域新高等学校について・・・・・・・・P3
- 【資料1】 校名選定の進め方について・・・・・・・・・・・・・・P6
- 【資料2】 校名選定の考え方について・・・・・・・・・・・・・・P7
- 【資料3】 子どもの意見聴取について・・・・・・・・・・・・・・P8
- 【資料 4-1～4-3】 校名案の募集要項について・・・・・・・・・・・・P9

紀南地域新高等学校校名選定委員会設置要綱

(設 置)

第1条 県立木本高等学校と県立紀南高等学校を統合し、令和7年4月に新しい高等学校を開校するにあたって、校名案を広く県民等から公募し、応募のあった校名案を検討・審議するため、紀南地域新高等学校校名選定委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2条 委員会は、県民等から応募のあった校名案を検討・審議し、校名候補を選定して、三重県教育委員会に提案する。

(組 織)

第3条 委員会は、学識経験者、教育関係者、地域関係者、学校関係者等で組織する。
2 委員会には、委員長1名と副委員長1名を置く。
3 委員長及び副委員長は、委員の中から互選により決める。
4 委員長は会議を総理する。副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故ある時は職務を代行する。

(委員の任期)

第4条 委員の任期は、委嘱の日から検討・審議が完了する日までとする。

(会 議)

第5条 委員会は、委員長が招集し、委員長が議事運営を行う。
2 委員会の庶務は県教育委員会事務局において処理する。

(その他)

第6条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が定める。

附 則

この要綱は、令和5年9月1日から施行する。

紀南地域新高等学校校名選定委員会 委員名簿

No	区分	所属及び名前
1	学識経験者	三重大学名誉教授 山田 康彦
2	地域有識者	熊野商工会議所 青年部幹事 森本 健一
3		文恵丸水産 代表 長山 行文
4		紀宝町商工会 理事 産屋敷 道博
5	市町教育委員会	熊野市教育委員会 教育長 倉本 勝也
6		御浜町教育委員会 教育長 辻本 誠一
7		紀宝町教育委員会 教育長 西 章
8	中学校長	紀宝町立矢湫中学校 校長 立嶋 信雄
9	小中学校PTA	紀南PTA連合会 会長 中澤 武
10		紀南PTA連合会 進路研究委員長 和田 泰史
11		紀南PTA連合会 進路研究副委員長 奥川 大輔
12	高等学校PTA	県立木本高等学校PTA 会長 道前 涼太
13		県立紀南高等学校PTA 会長 中嶋 悦雄
14	同窓会	県立木本高等学校同窓会 会長 森岡 忠雄
15		県立紀南高等学校同窓会 会長 田尾 友児
16	高等学校長	県立木本高等学校 校長 福田 英成
17		県立紀南高等学校 校長 辻 孝明

紀南地域新高等学校について

1 設置の概要 (令和5年3月公表済)

木本高等学校と紀南高等学校を統合し、校舎制の新しい高等学校を令和7年4月に設置します。

校舎名	設置場所	設置する課程および 学科・学級数
木本校舎	木本高等学校 (熊野市木本町 1101-4)	【全日制】 普通科 3学級 総合学科 1学級 【定時制】 普通科 1学級
紀南校舎	紀南高等学校 (南牟婁郡御浜町阿田和 1960)	【全日制】 総合学科 1学級

2 めざす学校像

～「美し国三重・東紀州の人づくり」の推進～

持続可能な社会の一員として、ふるさとを想い、未来に希望を持って幸福を実現する人材を地域とともに育てる「開かれた学校」

3 育みたい資質・能力

- ・自己肯定感を高め、夢や目標の実現に向けて主体的に学び続ける力 (自立)
- ・人との出会い・つながりを大切にし、互いのよさを生かして協力・協働する力 (共生)
- ・自分の可能性を信じ、何事にも積極的に挑戦し未来を切り拓く力 (創造)

4 特色ある学び

～仲間とつながる 地域とつながる 全国・世界とつながる～

(1) 2校舎が一体となった学び

- ・それぞれの校舎の独自性を大切にしつつ、校舎間の連携を強化して、より幅広い教育活動を行います。
- ・体育祭、文化祭、学習成果発表会などの行事を両校舎合同で開催します。
- ・校舎間を移動するバスを活用し、学習活動や部活動など、両校舎が合同で行う活動をサポートします。(予定)

(2) 地域と連携した学びや活動

- ・「防災・減災・復旧・復興」がキーワードの防災教育をはじめ、地域社会の課題解決をめざした探究活動「東紀州未来学 (仮称)」を実施します。
- ・地域との連携や外部指導員の活用により部活動を活性化します。
- ・コミュニティ・スクールの仕組みにより、地域と共に学びを支援します。

5 各課程・学科の特色

(1) 全日制・普通科（木本校舎3学級）

- ・普通教科を中心として確かな学力を育成し、「夢をかなえる力」を育みます。
- ・「選抜コース」では、2年次から文系・理系に分かれた発展的な学習を行い、主体的に学ぶ力を育成します。特に、国公立大学や難関私立大学への進学希望を実現できるよう支援します。
- ・「普通コース」では、大学や短大、看護系をはじめとする専門学校などへの進学に対応した教育課程を編成し、公務員など就職も含めた幅広い進路希望を実現できるよう支援します。

(2) 全日制・総合学科（木本校舎1学級、紀南校舎1学級）

- ・木本校舎に「リベラルアーツ」と「情報ビジネス」の2系列、紀南校舎に「地域デザイン」と「産業マイスター」の2系列、両校舎合わせて4系列を設置し、多彩な系列の学びで、進学から就職まで幅広い進路希望を実現できるよう支援します。
- ・系列共通の科目を含めた幅広い選択科目を設置し、個に応じたきめ細かな教育を実現します。
- ・生徒の出前授業などにより地域交流を推進するとともに、長期にわたる就労体験（インターンシップ）を実施するなど、体験型の学習を充実します。
- ・「リベラルアーツ系列」では、国語、数学、英語、スポーツ・芸術系科目などさまざまな選択科目を設置し、幅広い教養を育みます。
- ・「情報ビジネス系列」では、パソコンや会計系の資格取得につながる科目を設置し、情報やビジネスに関わる専門性を高めます。
- ・「地域デザイン系列」では、地域創造に関する科目を設置し、地域への理解を深め、地域の発展に貢献できる力を育みます。
- ・「産業マイスター系列」では、ビジネスや医療・福祉に関わる科目を設置し、地域産業などの担い手となる力を育みます。

(3) 定時制・普通科（木本校舎1学級）

- ・社会生活と学習を両立させながら、自分のペースで「なりたい自分」を実現します。
- ・少人数の学習環境での学び直しにより、社会生活で必要となる学力を育成します。

6 今後の進め方

- ・校名については、「紀南地域新高等学校校名選定委員会」を設置し、校名案を広く公募したうえで、校名を選定する予定です。
- ・その他の事項については、「紀南地域新高等学校ワーキング会議」を中心として、引き続き検討を進めます。

紀南地域新高等学校 ～「美し国三重・東紀州の人づくり」の推進～(案)

めざす 学校像

持続可能な社会の一員として、ふるさとを想い、未来に希望を持って
幸福を実現する人材を地域とともに育てる「開かれた学校」

育みたい 資質・能力

- 自己肯定感を高め、夢や目標の実現に向けて主体的に学び続ける力（自立）
- 人との出会い・つながりを大切にし、互いのよさを生かして協力・協働する力（共生）
- 自分の可能性を信じ、何事にも積極的に挑戦し未来を切り拓く力（創造）

学びのコンセプト

仲間とつながる 地域とつながる 全国・世界とつながる

特色ある 学び

- ◆2校舎の独自性を大切にしつつ、統合により連携を強化して学びを充実
- ◆幅広い選択科目を設置し、個に応じたきめ細かな教育を実現
- ◆「防災・減災・復旧・復興」がキーワードの防災教育をはじめ、地域社会の課題解決をめざした探究活動『東紀州未来学（仮称）』を実施

《《《「つながる」学びの推進》》》》

○2校舎が一体となった学び

- ◆体育祭・文化祭・学習成果発表会等の行事を両校舎で合同開催
- ◆移動用バスで両校舎の合同活動をサポート(予定)

○地域と連携した学びや活動

- ◆地域との連携や外部指導員の活用により部活動を活性化
- ◆コミュニティ・スクールの仕組みにより、地域と共に学びを支援

《《《生徒の進路希望の実現に向けて》》》》

○普通科選抜コース

- ◆国公立大学・難関私立大学合格に向けて、徹底サポート

○普通科普通コース

- ◆大学・短大・看護専門学校・公務員・就職等、幅広い希望に対応

○総合学科

- ◆多彩な系列の学びで、進学から就職まで、幅広い希望に対応

《《《《これまでの2校舎それぞれの歴史や取組を生かした特色ある学び》》》》》》

学びの選択肢の充実（設置予定の科目群）

木本校舎（熊野市）

紀南校舎（御浜町）

普通科（全日制） 3学級

- ◆国語・数学・英語等の共通教科を中心として、確かな学力などの「夢をかなえる力」を育成

選抜コース

- ◆2年次から、文系・理系に分かれた発展的な学習で、主体的に学ぶ力を育成

普通コース

- ◆文系科目を中心に、一部の理系科目も選択でき、幅広い学びで自己のキャリアを形成

普通科（定時制） 1学級

- ◆仕事や社会生活と学習を両立
- ◆一人ひとりのペースで「なりたい自分」を実現

定時制普通科

- ◆少人数での学び直して「社会生活で必要な学力」を育成

総合学科（全日制） 1学級・・・（連携）・・・1学級

- ◆系列ごとの科目と、系列共通の選択科目の設置
- ◆生徒の出前授業など地域交流を推進

リベラルアーツ系列

- ◆国語・数学・英語等の共通教科やスポーツ・芸術系科目等から幅広く選択

情報ビジネス系列

- ◆パソコン・会計系の資格取得等につながる、実社会で役立つ科目を選択

- ◆長期にわたる就労体験（インターンシップ）を実施
- ◆地域での体験型の授業が充実

地域デザイン系列

- ◆地域創造・文系科目や共通選択科目等から幅広く選択

産業マイスター系列

- ◆ビジネス・医療福祉系の科目等、地域産業に関わる科目を選択

校名選定の進め方について

○スケジュール（案）

9月21日 第1回校名選定委員会

- ・校名選定の進め方について
- ・校名選定の考え方について
- ・子どもの意見聴取について
- ・校名の募集要項について

10月上旬 校名案の公募（11月上旬までの約1カ月間）

11月中旬 第2回校名選定委員会

- ・応募された校名案からの絞り込み（10案程度）
- ・子どもの意見聴取の方法等について

11月下旬 子どもの意見聴取（予定）

12月上旬 第3回校名選定委員会

- ・教育委員会に提案する校名候補（3案程度）を選定

校名選定委員会より提案された校名候補については、教育委員会定例会において1案に絞り、県議会の議決を経て、年度内を目途に校名を決定・公表する予定です。

校名選定の考え方について

○基本方針（案）

- ・新しい高等学校にふさわしい校名とする。
※新校の概要案（参考資料 1-1、1-2）を参照
- ・県内や近隣府県の高等学校や、企業、団体等の名称と区別しにくい校名はさける。

○校名選定にあたり、委員会として大切にしたい思いや願い

- ・（例）新校で学ぶ生徒が誇りを持つことができる校名とする。
- ・
- ・

子どもの意見聴取について

○趣旨

- ・こども基本法（令和5年4月施行）の趣旨をふまえ、子どもの意見聴取の機会を設けることとする。

《参考》こども基本法 第三条 三

「全てのこどもについて、その年齢及び発達¹の程度に応じて、自己に直接関係する全ての事項に関して意見を表明する機会及び多様な社会的活動に参画する機会が保障されること。」

○方法について（案）

- ・校名案の応募に加え、校名候補の選定過程へ参加する機会を設ける。
- ・選定過程への参加方法としては、第2回委員会で絞り込まれた校名案（10案程度）に対し、児童生徒が投票を行うこととする。
- ・対象とする児童生徒や実施方法、投票結果の取扱い等については、第2回委員会で協議を行う。

紀南地域に新しく開校する 高等学校の校名を募集します!!

木本高校と紀南高校が統合し、令和7年4月に校舎制の新しい高校が開校します。
ついては、この新しい高校の校名を募集します。「紀南地域新高等学校（案）」を参考に、新しい高校にふさわしい校名を、あなたの自由な発想で提案してください。

1 応募について

(1) 応募の方法

Google Form、はがき、FAX、Eメールのいずれかの方法で、次の①～③を記入して、応募してください。（①②については必ずご記入ください。）

①校名案（「三重県立 高等学校」の 部分）

②理由（校名案についての説明）

③応募者の名前、住所、電話番号

【注意事項】・校名案と応募者の名前には、ふりがなを書いてください。

・1回の応募につき校名は1案としてください。

・県内や近隣府県の高等学校や企業・団体等の名称と区別しにくい校名は避けてください。

・商標や著作権等の他者の権利を侵害しないものとしてください。

(2) 送付先

・Google Form:

二次元コード⇒

(https://

・はがき：〒514-8570 三重県津市広明町13

三重県教育委員会事務局 教育政策課内

紀南地域新高等学校校名選定委員会事務局 宛

・FAX：紀南地域新高等学校校名選定委員会事務局 宛

FAX: 059-224-2319

※「校名応募用紙（FAX送信用）」が便利です

・Eメール：kyosei@pref.mie.lg.jp（教育政策課）

メールのタイトルを「校名応募」としてください。

(3) 募集の期間

令和5年〇月〇日（〇）～ 〇月〇日（〇） ※はがきは消印有効

(4) 応募できる方

どなたでも応募できます。

2 校名の決定と公表等について

(1) 応募のあった校名案の中から、「紀南地域新高等学校校名選定委員会」が校名候補を選定します。この校名候補の中から、三重県教育委員会での審議、三重県議会の議決を経て校名を決定します。校名の公表については令和6年2月以降になります。

(2) 今回の公募は、校名案を募集するものであり、応募数によって校名が決まるものではありません。

(3) 応募された校名案について、変更等を含めた修正を行う場合があります。また、公序良俗に反するものは、事務局において除外します。

(4) 採用された校名の著作権は、三重県教育委員会に帰属します。

(5) 採用された校名の応募者には直接通知し、記念品を贈呈します。

(6) 応募の際にご記入いただいた個人情報適切に管理し、応募内容等について確認が必要となった場合や、校名が採用された応募者への通知以外には使用しません。

(問い合わせ先)

紀南地域新高等学校校名選定委員会事務局（三重県教育委員会事務局教育政策課内）

TEL:059-224-2951 FAX:059-224-2319 Eメール:kyosei@pref.mie.lg.jp

【案】校名応募用紙(FAX送信用)

紀南地域新高等学校校名選定委員会事務局 宛
FAX 059-224-2319 (教育政策課：加藤英紀)

応募期間：令和5年〇月〇日 ～ 〇月〇日

ふりがな→ (ひらがなで)
1 校名案 三重県立 高等学校

2 理由 (校名案についての説明)

.....
.....
.....
.....

3 応募者の名前、住所、電話番号

*よろしければご記入ください。

ふりがな→

お名前 _____

ご住所 〒 _____

電話番号 _____ — _____ — _____

※応募の際にご記入いただいた個人情報は適切に管理し、応募内容等について確認が必要となった場合や、校名が採用された応募者への通知以外には使用しません。

紀南地域新高等学校 ～「美し国三重・東紀州の人づくり」の推進～(案)

めざす
学校像

持続可能な社会の一員として、ふるさとを想い、未来に希望を持って
幸福を実現する人材を地域とともに育てる「開かれた学校」

育みたい
資質・能力

- 自己肯定感を高め、夢や目標の実現に向けて主体的に学び続ける力（自立）
- 人との出会い・つながりを大切に、互いのよさを生かして協力・協働する力（共生）
- 自分の可能性を信じ、何事にも積極的に挑戦し未来を切り拓く力（創造）

学びのコンセプト

仲間とつながる 地域とつながる 全国・世界とつながる

特色ある
学び

- ◆2校舎の独自性を大切にしつつ、統合により連携を強化して学びを充実
- ◆幅広い選択科目を設置し、個に応じたきめ細かな教育を実現
- ◆「防災・減災・復旧・復興」がキーワードの防災教育をはじめ、地域社会の課題解決をめざした探究活動『東紀州未来学（仮称）』を実施

《《《「つながる」学びの推進》》》》

○2校舎が一体となった学び

- ◆体育祭・文化祭・学習成果発表会等の行事を両校舎で合同開催
- ◆移動用バスで両校舎の合同活動をサポート(予定)

○地域と連携した学びや活動

- ◆地域との連携や外部指導員の活用により部活動を活性化
- ◆コミュニティ・スクールの仕組みにより、地域と共に学びを支援

《《《生徒の進路希望の実現に向けて》》》》

○普通科選抜コース

- ◆国公立大学・難関私立大学合格に向けて、徹底サポート

○普通科普通コース

- ◆大学・短大・看護専門学校・公務員・就職等、幅広い希望に対応

○総合学科

- ◆多彩な系列の学びで、進学から就職まで、幅広い希望に対応

《《《《これまでの2校舎それぞれの歴史や取組を生かした特色ある学び》》》》》》

学びの選択肢の充実（設置予定の科目群）

木本校舎（熊野市）

紀南校舎（御浜町）

普通科（全日制）
3学級

- ◆国語・数学・英語等の共通教科を中心として、確かな学力などの「夢をかなえる力」を育成

選抜コース

- ◆2年次から、文系・理系に分かれた発展的な学習で、主体的に学ぶ力を育成

普通コース

- ◆文系科目を中心に、一部の理系科目も選択でき、幅広い学びで自己のキャリアを形成

普通科（定時制）
1学級

- ◆仕事や社会生活と学習を両立
- ◆一人ひとりのペースで「なりたい自分」を実現

定時制普通科

- ◆少人数での学び直して「社会生活で必要な学力」を育成

総合学科（全日制）
1学級・・・（連携）・・・1学級

- ◆系列ごとの科目と、系列共通の選択科目の設置
- ◆生徒の出前授業など地域交流を推進

リベラルアーツ系列

- ◆国語・数学・英語等の共通教科やスポーツ・芸術系科目等から幅広く選択

情報ビジネス系列

- ◆パソコン・会計系の資格取得等につながる、実社会で役立つ科目を選択

- ◆長期にわたる就労体験（インターンシップ）を実施
- ◆地域での体験型の授業が充実

地域デザイン系列

- ◆地域創造・文系科目や共通選択科目等から幅広く選択

産業マイスター系列

- ◆ビジネス・医療福祉系の科目等、地域産業に関わる科目を選択